



ロータリー：
変化をもたらす

Weekly

尾張旭ロータリークラブ



・会長 西尾輝久 ・幹事 菊田利昭 ・クラブ会報 加藤清久
 ・例会日 毎週金曜日 12:30 ・例会場 〒488-0801 尾張旭市東大道町原田 2570-3
 ・事務局 尾張旭市商工会館 TEL 0561-54-1263 FAX 0561-54-8945
 E-mail : jim@owariasahi-rc.org URL : http://www.owariasahi-rc.org

2017-18年度 地区方針 「今日からのロータリーを楽しもう！」

本日 第2259回 2017年9月12日(火) No. 2144

本日のプログラム Today's Program

卓話者:神野 重行ガバナー

名古屋名駅ロータリークラブ

点 鐘

ロータリーソング「君が代」・「奉仕の理想」

演 題 : 「ガバナー公式訪問に因んで」



歓 迎

国際ロータリー第 2760 地区

神野 重行ガバナー

(瀬戸 RC・尾張旭 RC・瀬戸北 RC・愛知長久手 RC 合同例会)

前回 第2258回 2017年9月8日(金) 記 録

○斉唱:「海」

○出席者:会員 21 名中 17 名出席 出席率 80.95%
前々回補正出席率 8月 25 日分 95.23%

会長あいさつ 西尾 輝久



前橋 RC の本田パストガバナーは本年 1 月号に日本を除く世界のロータリークラブ (RI) の最近の考え方を述べられております。私としては従来の考え方と全く異なるものだと驚きましたが、近頃の RI の方針を考えると納得できる事が多くありました。今日は「職業奉仕」につい

て述べてみます。「五大奉仕部門」の定義が RI (第 6 条) 定款や細則には掲載されず、標準ロータリークラブ定款にだけ記されているのは、それぞれの定義の前文で明記されている通り、「個々のロータリークラブの活動のための枠組み」であるからです。そこには各奉仕部門で行うべき行動、活動が記されています。ですから、改正、追加等も可能なわけです。第一部門の「クラブ奉仕」では、「行動」第三部門の「社会奉仕」では「取り組み」、第四部門の「国際奉仕」では「クラブの活動やプロジェクト」、第五部門の「青少年奉仕」では「活動」「プロジェクト」「プログラム」などという言葉で会員やクラブに行動を求めています。ところが第二部門の「職業奉仕」はこれまで記述が他の部門とは明らかに違ってお

基本教育と識字率向上/ロータリーの友・OFDY

	9月22日(金)	9月30日(土)	10月6日(金)	10月14日(土)
例	卓話担当者:プログラム委員会	担当:親睦活動委員会	卓話担当者:会員増強委員会	担当:社会奉仕委員会
会	卓話者:笠松体操クラブ	月見例会	卓話者:地区会員増強委員 古橋エツ子君	尾張旭市民祭協賛
予	代表 笠松 茂様	(29日振替)	会員増強委員長 仲澤 昌容君	苗木配布
定	笠松 和永様	於良福寺書院	演題:「地区会員増強委員会	(10/13 振替)
	演題:「オリンピックへの道」	18:00 点鐘	で学んだこと」	於スカイワードあさひイベント広場南

りました。クラブの活動の枠組みであるはずの「奉仕の第二部門」としての説明が欠落していたのです。しかし、2016年度の改正で、「奉仕の第二部門である職業奉仕・・・自分自身を律し事業を行う事」の後に、「そして自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応える事が含まれる」が追加されました。これで5つの奉仕部門の活動が明確になった様です。このように考えると日本というか私の考える「職業奉仕」という言葉は五大奉仕の中の単なる奉仕部門の1つと考えると何だかさびしくなる様な感じがするのは私だけでしょうか。

幹事報告

本日の会合：第1回戦略委員会 於尾張旭市商工会館内 第一会議室 13:40～
 次回の例会：9/12(火) 15日振替分 ガバナー公式訪問 ホスト：愛知長久手 RC 於サンプラザシーズンズ

ニコボックス

- 大変涼しくなりました。ロータリー活動皆さんよろしくお祈りします。 西尾 輝久君
- 卓話楽しみにしています。 菊田 利昭君
- 家内の誕生日を祝っていただき。 江尻 豪君
- 誕生日を祝っていただき。 高島 昇君
- 長い間、休みました。秋ちかし さんが食べたいです。 江尻 豪君
- 季節の変わり目です。腹を出して寝ない様にしましょう。 岡田 好雅君
- 東北復興の旅、楽しみです。 加藤 清久君
- 団々亭別館の庵ができました。近くへお越しの折は、お寄り下さい。 加藤 清久君
- 井田さん、舟橋さんの卓話、楽しみにしています。 金森 俊輔君
- 本日、3分スピーチを担当致します。 桜井 雅博君
- 本日は親睦活動委員会の説明をさせていただきます。 舟橋 龍秀君
- 皆様お久しぶりです。お元気そうで何よりです。 森井 晴生君
- 西尾さんに御世話になりました。 山田 直樹君

第1回戦略委員会

日時：2017年9月8日(金) 13:40～
 場所：尾張旭市商工会館内 第一会議室
 議題：1) 会員増強

- 2) 奉仕を通じた広報活動
- 3) 親睦と例会の在り方
- 4) 財政問題
- 5) その他

・すべてにおいて活発な意見交換が行われた。

卓話



2017年9月1日分
 米山記念奨学会・ロータリー財団委員長
 古橋 エツ子

【ロータリー財団委員会】

ロータリー財団委員会の担当となった今年度は、ロータリー財団からの補助金申請が通ったので、尾張旭市図書館や保育園などに協力いただきながら、「親子座談会・絵本読み聞かせによる子育て支援」をテーマに準備を進め始めています。具体的には、まず図書館に読み聞かせ用の絵本集・大型紙芝居舞台&紙芝居・ぬいぐるみ・収納型箱台車などを整えます。今までは、大型紙芝居舞台が無かったので図書館の方が段ボールで作成していたため、今回の支援をととても喜んでいただけました。

また、稲葉保育園で大型紙芝居なども10月27日(金)の移動例会日に予定しています。よろしくお祈りいたします。

【米山記念奨学会委員会】

米山記念奨学会委員会では、名古屋学院大学大学院・経済経営学科修士課程で研究中の陳文娟さんのお世話をすることになりました。

私は、奨学生のカウンセラーとしては2度目の体験ですが、わが家には娘がいないので陳さんが来て下さったこと、とても嬉しく楽しみです。

それでは、陳さんから、スピーチをしていただきます。



米山記念奨学生
 陳 文娟

この度、私はロータリー米山奨学生に選ばれ、心からロータリー米山記念奨学会、そしてロータリアンの皆様申し上げます。奨学生である私はこれから学業に励むと同時に、自分の力限りに国際交流事業に従事したいと考えており、日中の架け橋になれるよう努力していきたくと思います。

私は日本に来る前、日本語を独学して、日本語能力試験二級を合格しましたが、当時は、日本語があまり喋れませんでした。日本に来て、言葉が通じないせいで学校生活において多くの不自由があり、孤

独だった私を助けてくださったのは日本人の先生と学生たちでした。日本語をあまり喋れなかった私に親切に接して下さったり、言葉を分かりやすいスピードでゆっくり喋って下さったり、日本人の学生と一対一で日本語を教えてくださいました。先生や友達と自分との絆、それは日本と自分との絆だとやがて私は自意識するようになり、そのつながりを大切にしていきたいと考えました。

しかし一方で、日中にまたがる歴史認識、領土権益、貿易摩擦、安全保障などの問題で双方に大きな食い違いが存在するのも事実です。これらに直面しながら、いかに絆を大切にしていくのか、私はずっと悩まされていました。しかしそれは自分だけにある悩みではなく、国際交流、理解促進事業に従事しているらっしゃるロータリアン、米山学友の方々がともに抱えている悩みでもあると思います。この悩みを抱えてなお、「留学生が平和を求める日本人と出会い、お互いに信頼しあう関係を築き、世界の架け橋になる」という宗旨に身を尽くしていきたいと思います。私はこれからロータリアンの方々、学友の方々と絆を大切にしていきたいと考えております。

中国人である私はいままで、そしてこれからも日本との絆を大切にしていきたいと思います。まだまだ未熟な私ですが、これからも色々な迷惑をかけると思います。どうか許して、間違えたところであれば、指摘して下さったら嬉しいです。また、日本の文化、風習をもっと教えてください。

以上をもちまして、私の挨拶を終了とさせていただきます。



社会奉仕委員長 井田 武憲

今年度の方針として、地域や社会に貢献できる事業を計画し実行していきたいと思っております。具体的な事業内容は、10月14日(土)尾張旭市民祭に於いてハナミズキの苗木を配布します。この事業は26年間続けています。

そして、本年度 RI 会長エレクトの方針「各会員1本の植樹を」に参画し、当クラブ会員も苗木の植樹をお願いします。

次に、継続6年目の東日本被災地支援事業です。11月7日(火)～9日(水)に宮城県宮城郡松島町松島 RC、松島第二幼稚園、福島県田村郡三春町三春 RC、富岡町立小中学校・幼稚園(仮設校舎)を

訪問し、健康タオル、学習用具を贈呈する支援活動を実施します。

また、福島県相馬市、富岡町等の施設を視察し、現況を把握しながら今後の当事業の方向性の参考にしたいと思っております。

協賛事業では、「福祉マインドフェア」「手をつなぐ親の会」に参画しています。



親睦活動委員長 舟橋龍秀

ロータリーソング「我らの生業」にあるように、ロータリアンが目指すものは、「平和親睦」です。平和の方は、北朝鮮問題を始め、世界各国でテロが頻発している昨今、大いに危機にさらされています。平和は我々の力では何ともし難いところですが、睦むこと(親睦)は、我々の振る舞い一つで可能になることであり、また、ロータリー発祥の精神でもあります。

さて、「親睦」と同じような意味を持つ言葉に「懇親」があります。巷では親睦会や懇親会が頻りに開催されています。では、この2つに何か違いがあるのでしょうか。それがふと気になって、インターネットで調べてみました。そうすると、両者に大きな違いはないが、親睦会はすでに親しい者同士が集まって、心おきなく飲食を共にする会という意味合いがあるようです。一方、懇親会は、もう少し広い範囲の人たちが集まって、意見交換する場で、情報交換という機能があるようです。確かに、医療関係の医学では、立食パーティーが開催されますが、それは懇親会にあたるもので、意見交換会と呼ばれています。親睦活動委員会が担当する夜間例会や家族例会は、「親睦会」にあたるものであり、まさに会員間や会員家族との交流の場であり、今後ともこういった親睦会の意義は大きいものです。

ところで、親睦会に「懇親会」的な要素を少し付加してもよいのではと考えるようになりました。伊那 RC との交流例会は伝統的行事になっています。今年度は当クラブがホストになって来年3月に開催することにしています。それ以外に、他のクラブとも定期的な交流を持つとかロータリアン以外との交流を深めるための懇親会や意見交換会を開催することも今後考えていくべきだと思います。こうしたことは、親睦活動委員会だけで実現することは困難です。幸い、箕輪委員長のもと戦略委員会が活

動を始めました。この委員会で実現に向けて話し合いができればと考えています。

西尾年度の親睦活動委員会の主催の行事については、年間行事表をご覧ください。その中で、今年度は、家族参加のバス小旅行を復活したいと考えています。この1年間、よろしくお願いいたします。

ガバナー月信9月号

河村名古屋市長を訪問(7月6日)



ガバナー活動報告 (表敬訪問)

神野ガバナーの表敬訪問には、加藤定伸地区幹事、佐久間武美公共イメージ向上委員会副委員長、尾上昇地区大会実行委員長が同席した。神野ガバナーは2017-18年度地区大会への出席招請を行い、河村市長はこれを快諾した。

また、神野ガバナーからは、ポリオプラス、WFF、VTT(職業研修チーム)などロータリークラブで取り組む奉仕活動の内容、及びロータリアン以外の皆様に、これらのロータリー活動を知っていただき、良きパートナーとして参加して頂けるため取り組んでいる公共イメージ向上施策について紹介を行った。河村市長からは、素晴らしい取り組みであり、応援する旨のエールをいただいた。

ガバナーメッセージ

国際ロータリー第2760地区

2017-18年度ガバナー

神野 重行

皆さん、こんにちは！

8月24日からガバナー公式訪問が始まりました。ホストクラブの皆さんを中心に準備をしていただき感謝いたしております。

さて、今年度の行動指針の一つとして「周りへの積極的働きかけによって、周りの皆さんの理解が図れ、良きパートナーになってもらえる」ことをお示ししました。これに基づき、ロータリー活動への理解と公共イメージの向上を高めるため、マスメディア関係者をお招きして、6月22日に当地区では初めてとなるプレスセミナーを開催しました。

その後も、ガバナー就任のあいさつを兼ねて、愛知県知事、名古屋市長をはじめ、主だったこの地域のマスメディアを訪問し、「ポリオプラス」をはじめ「WFF」など地区のロータリーの活動、あるいは「各クラブが取り組む奉仕活動」の説明をいたしました。

各マスメディアからは、「WFFなどこれだけ素晴らしい活動をしているのをよく知らなかった。取材に伺いたい」など好意的な反応が返ってきました。

その後、公共イメージ向上委員会「池森由幸委員

長」が中心となり、各クラブが取り組む奉仕活動を、訪問したマスメディアを中心にリリースを始めましたが、既にいくつかの奉仕活動に対し、取材をしたい旨の依頼がきています。今後、各クラブの皆様と一緒にマスメディア対応を進めますので、ご協力をお願いします。



基本的教育と識字率向上月間」よせて 地区国際奉仕委員会委員長

鈴木宏司(半田南)

ロータリーの6つの重点分野の一つとなっている「基本的教育と識字率向上」

は、世界の国の中で子供たちが基本的な教育を受けられない、また成人が十分に読み書きできない地域があり、そうした地域で基本的教育を提供し、識字率を上げることで、貧困を減らし健康状態を改善し、地域社会の発展につなげることをいいます。

現在世界では6700万人の子供が学校に通っていません。また7億7500万人の成人が読み書きできません。その中の3分の2は女性です。読み書きが出来ないと必要な情報を手に入れることができず不利益を被るばかりか、意思や要求を書面で伝えられず社会的な権利が大幅に制約されます。

ではなぜ子供たちが学校へ通えないのかと考えると、貧困で教育費が払えない、子供が家庭の労働力となっている、性差別から女の子は学校へ通う必要がないと考えられている、近くに学校がない、先生がいない、少数民族の地域では家と学校で言葉が違うためついていけない等たくさんあります。識字率が向上しますと貧困解決に効果があることが統計的に証明されています。

- ・母親が読み書きできると、5歳未満の乳幼児死亡率が低い。
- ・女子の識字率が高いと、女兒の就学率も高い。
- ・成人識字率が高いと、小学校5年次まで在学する児童の割合も高い。
- ・識字率の高い国は、平均寿命が長く、一人当たりの収入や農業生産性が高い。

9月8日は「国際識字デー」です。自分たちにとって「あたりまえ」かもしれませんが世界にはそれが「あたりまえではない」人々がいます。こういった環境を少しでも解決するため各ロータリークラブで積極的な活動をお願いいたします。グローバル補助金・地区補助金等を有効利用されることもお勧めします。

地区国際奉仕委員会では、10月に開催される「ワールドフード+ふれ愛フェスタ」の収益金を使って今年度はフィリピンのケソン市におきまして子供の教育支援事業を行なう予定です。また現在申請中ですがグローバル補助金を活用して、ネパールで地域病院の施設充実と僻地巡回医療を行ないます。また昨年引き続きラオスにおいて簡易水道システムの設置事業も行ないますので各クラブの皆様ご協力をお願いいたします。